ます.

申込締切　11月末日

世話人　野本憲一，松田卓也，梅村雅之
観山正見

問い合わせ先

国立天文台理論天文学研究系
〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
梅村雅之
TEL. 0422-41-3752　FAX. 0422-41-3746

書　評

「双眼鏡で星空ウォッチング」

村山定男 監修・白尾元理 著
（丸善　2060円）

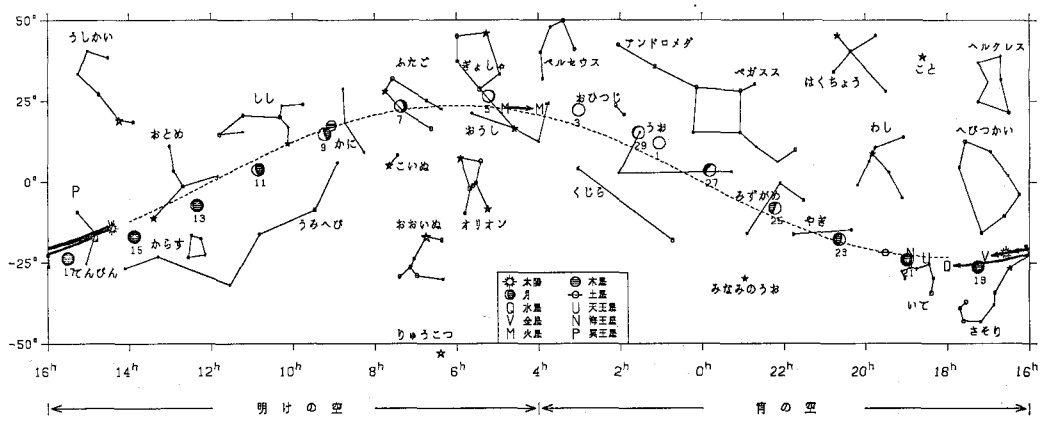
星空の観望ガイドと銘打った本は数多く出版されてきていたが，それはいままで「星座」紹介を中心にした肉眼用のものと，星雲・星団を対象にした望遠鏡用のものとに大別される．実は，どちらのものも中をよく読むと，気ままで手軽な星空観望には双眼鏡が適していると書いてあるし，天文雑誌などでも同様の趣旨が宣伝されてはいるのだが，正面切って「双眼鏡のための」星空観望ガイドが本になったことは無かった．

本書は，双眼鏡を使って観望を楽しめる天体（月，惑星，星雲，星団など）について，捜し方を示した星図と天体写真を併用して解説したものである．標準的な双眼鏡の視野である7度の円を，それぞれの星図や写真に書き入れ，初心者でも天体を見つけやすいように工夫がされている．そして，なによりすべての天体について，美しいカラー写真が掲載されているのが魅力で，写真集としても楽しめる．著者は，アマチュアながら惑星地質学を独自に研究されている方で，天体についての解説も簡潔にして明快である．ただ，星雲などは専門外のためか，「惑星状星雲は，超新星が爆発した残骸と考えられる」といった明らかに誤った記述が散見されるのは残念で，改版時にぜひ訂正していただきたい．昨今のアウトドアブームで，双眼鏡の売れ行きは良いらしいが，本書はそういったアウトドア派には，もってこいの星空案内書といえるだろう．カラー写真が多いぶん，小型の本にしては値段が高いが，会員の方で双眼鏡をお持ちの方にもおすすめしたい本である．　（渡部潤一）

1990年8月の太陽黒点（g, f）（国立天文台）

1	17,	165	11	16,	123	21	21,	265
2	19,	202	12	14,	76	22	17,	256
3	13,	121	13	20,	180	23	15,	210
4	16,	108	14	19,	281	24	19,	280
5	10,	66	15	21,	276	25	14,	222
6	11,	129	16	18,	349	26	14,	184
7	12,	129	17	20,	322	27	11,	211
8	14,	178	18	20,	171	28	12,	196
9	—,	—	19	19,	194	29	13,	196
10	—,	—	20	19,	258	30	17,	206
（相対数月平均値：214.10）						31	15,	134

◇11月の天文暦◇

日	時	分	記　事
2	0	15	金星　外合
3	6	48	**望**
4	8	08	月　最近
5	16	02	木星　西矩
9	22	02	**下弦**
10	18	04	冥王星　合
17	18	05	**朔**
19	11	56	月　最遠
20	12	58	火星　地球最近
25	22	12	**上弦**
28	5	33	火星　衝
30	21	57	木星　留

◇11月の日月惑星運行図◇